

コントローラーの使いかた

				カーソルの移動、項目の選択や決定、操作終了をおこないます。
	初めてご使用の際に必要な基本的な設定をおこないます。			
	原料の種類や量、湯または水の抽出する量や温度、カップのサイズなどの設定ができます。			
	製品全体での抽出回数や、各飲料ボタンごとの抽出回数を確認できます。			
	浄水器や冷却水の交換時期、停止する時間や曜日、自動でリンスや沸騰する時間を設定できます。			
	休止や故障の履歴内容が確認できます。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。			
	お湯の沸き上げ温度や動作音などが設定できます。			
	ミキシングボールのリンス動作をおこないます。汚れが気になるときにご利用ください。			
	「一時解除」に設定すると、休止状態が一時的に解除され抽出ができる状態になります。			
	「湯断水」「水断水」が発生した場合に解除します。断給水を確認して解除してください。			
	「学習省エネ運転」「エコモード運転」「通常運転」の運転モードの切り替えができます。			
	飲料ボタンの安全ロック動作の「する」「しない」を切り替えます。どなたでもご利用になれる場所では、安易に抽出ができないように安全ロック動作の設定をお勧めします。			

とろみ飲料の調整・リンス

とろみ調整は飲料ボタンを押す前に設定します	
	とろみの粘度を調整する ボタンを押さないときは『中間のとろみ』、「こいめ」ボタンを押すとランプが点灯し『濃いとろみ』、「うすめ」ボタンを押すとランプが点灯し『薄いとろみ』が抽出されます。もう一度ボタンを押すとランプが消灯しキャンセルできます。
	とろみの有無を選択する 「とろみあり・なし」ボタンを押してとろみの有無を選択します。ランプが点灯しているときは『とろみあり』、ランプが消灯しているときは『とろみなし』で抽出されます。
	一杯取り、まとめ取りを選択する 「まとめどり」ボタンを押して一杯量の抽出かまとめ量の抽出かを選択します。ランプが点灯しているときは『まとめ量』、ランプが消灯しているときは『一杯量』で抽出されます。
	とろみ水の抽出路をリンスする とろみ水の抽出路は、とろみ剤が付着しやすいので定期的にリンスが必要です。ランプが点滅したら「 <u>とろみリンス</u> 」ボタンを長押ししてリンスをしてください。
	リンス動作中は飲料抽出口に手を入れない やけどの原因になります。

お手入れ

詳しい内容は本体内部のお手入れラベルまたは凰商事(株)のホームページをご確認ください。

	部品の取りはずし、取り付け、および お手入れするときは、電源スイッチを切る 感電やけがの原因になります。		お手入れするときなど、本体各部に 直接水をかけない ショートや感電の原因になります。	
	とろみ水の抽水路に関連する指定部品は、 毎日洗浄し汚れを除去する とろみ水用ミキシングボール、集合ロート、排水皿には溶けたとろみ剤が付着しやすく、残ってしまいます。お手入れ不足があると、雑菌繁殖の恐れがあります。		お手入れに薬剤等を使用しない クレンザー、シンナー、ベンジン、アルコール、ベンゾール、灯油などを使用しないでください。また、樹脂部品にハンドクリーム等が付着した場合は速やかにふき取ってください。変質・変色・破損の原因となる場合があります。	

部品を取りはずし洗浄するとき
ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。
汚れが落ちにくいとき
薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

ミキシングボール・集合ロート・原料容器を着脱するとき
ミキシングボール・集合ロート・原料容器を脱着するときは、原料容器の蓋にあるキャップを原料容器先端にかぶせ、それぞれの部品を静かに取り扱ってください。
お手入れが終わったら
部品をもとの位置に納め、電源を入れてご使用ください。

保証とアフターサービス

- このとろみサーバーの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。
- 異常があるときは使用を中止して電源を切り、必ず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。
- 標準的な使用条件

区 分	項 目	条 件	区 分	項 目	条 件
環境条件 (屋内専用)	電圧、周波数	交流 100V、50Hz/60Hz	負荷条件	給水圧	0.1MPa ～ 0.75MPa
	室温、湿度	1℃～ 35℃、85% 以下		給水温度	1℃～ 30℃
使用条件	使用杯数	100 杯 / 日、2,000 杯 / 月、24,000 杯 / 年		負 荷	12 時間 / 日 使用

■ご連絡いただきたい内容

- ・商品名：とろみサーバー
- ・製品名：HTC-1046LTR
- ・給排水タイプ
- ・機番（本体内部左上側面に記載）
- ・故障の状況（出きるだけ具体的に）
- ・ご住所、お名前、電話番号

H146LTR9101

とろみサーバー 取扱説明書

形 名

HTC-1046LTR

- このたびはとろみサーバーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
据え付け工事の完了後は、試運転をおこない異常がないことを確認してください。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表 示	表示の意味	表 示	表示の意味
警告	” 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（＊１）を負うことが想定されること” を示します。	注意	” 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、物的損害（＊３）の発生が想定されること” を示します。

- ＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- ＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図 記 号	図 記 号 の 意 味
禁 止 指 示 注 意	は禁止（してはいけないこと）を示します。 は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますのでご確認ください。
もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

【免責事項】

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

警告	
据付・配管・電気工事は関連する法規や地方条例と、この取扱説明書に従う 工事に不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。	指示 電源は交流 1 0 0 V、定格 1 5 A 以上のコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。 コンセントを単独で使用

取扱説明書の詳しい内容は
凰商事(株)のホームページを
ご覧ください。



⚠警告	
アース（接地）の取り付けをする 電気設備技術基準および内線規定に従った、D種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、アース線を確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを確認してください。 アース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。 故障・漏電したときに感電する原因になります。	異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する 電源プラグを異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。
専用止水栓を設ける（水道直結タイプ） 水漏れの時、専用止水栓がないと拡大被害の原因となります。	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。
給水配管はステンレス管や合成樹脂内面処理管など、法規や地方条例に適合した材質を使用する ゴムやビニールのホースを使用すると、水圧により破裂し水漏れの原因になります。	電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
地震などによる転倒防止の処理をする 振動により転倒し、けがの原因になります。 本体と置台の連結 置台に付属の取付金具（3枚）で本体と置台を連結してください。 転倒防止 事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の転倒防止金具、床固定金具を使用し、壁や柱、床に固定してください。 部品はお買い上げの販売店に、ご相談ください。	部品の取り付け、取りはずし、およびお手入れするときは、電源スイッチを切る 感電やけがの原因になります。
湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない 漏電の原因になります。	原料容器棚に手を触れない 原料防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。
分解・改造・修理はしない 発火したり、異常動作してけがの原因になります。	飲料抽出動作中は飲料抽出口に手を入れない 飲料抽出動作中は抽出機構部に手を触れない やけどやけがの原因になります。
漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する 故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。 漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。	湯タンクヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買い上げの販売店に依頼してください 再度、ご使用になるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください 衛生上の問題や故障の原因になります。
ガス類や引火物の近くに設置しない （本体の近くにガス類や引火物を置かない） 発火の原因になります。	とろみ飲料はとろみの粘度を確認してから飲む 適正な粘度のとろみがつかない場合やとろみ剤の溶け残り（ダマ）が残る場合があります。 とろみを強くつけすぎたものや溶け残り（ダマ）を飲むと喉につまる恐れがあります。
配管水路にストレーナーを設ける サーバー本体に異物が侵入し、水漏れや故障の原因になります。	湯タンクヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買い上げの販売店に依頼してください 再度、ご使用になるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください 衛生上の問題や故障の原因になります。
給水水圧は0.1～0.75MPaの間で使用する（水道直結タイプ） 水圧が高いと水漏れや故障の原因になります。	原料容器棚に手を触れない 原料防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。
配管接続部は確実に接続する 排水ホースは確実に排水口に導く（直接排水の場合） 確実に接続しないと水漏れの原因になります。	飲料抽出動作中は飲料抽出口に手を入れない 飲料抽出動作中は抽出機構部に手を触れない やけどやけがの原因になります。
排水配管は必ずトラップを設ける（直接排水の場合） トラップを設けないと臭気ガスの逆流により、換気機能の低下や冷媒配管の腐食による故障や異臭などの原因になります。	とろみ飲料はとろみの粘度を確認してから飲む 適正な粘度のとろみがつかない場合やとろみ剤の溶け残り（ダマ）が残る場合があります。 とろみを強くつけすぎたものや溶け残り（ダマ）を飲むと喉につまる恐れがあります。
工事作業中は手袋を着用する 金属端面などによるけがを防ぎます。	湯タンクヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買い上げの販売店に依頼してください 再度、ご使用になるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください 衛生上の問題や故障の原因になります。

はじめてご使用になる前に

給水のしかた

上面板をはずし（ネジ1本）、左側面にある給水ホースにじょうごをセットし、冷却用タンクに満水まで給水します。満水（4.9L）になると排水皿に水が流れてきます。置台CT-33Lをご使用の場合は水タンク2個に満水レベルまで給水してください。一度で満水にならないときは、断水ランプが点滅して給水を一時中止します。給水を確認しコントローラー操作部の「断水解除」キーを押してください。給水を再開します。

⚠ 注 意	置台CT-33Lをご使用の場合 電源を入れる前に、置台の水タンク2個に満水レベルまで給水する 水タンクが空の状態で電源を入れると、ポンプが故障する原因になります。	⚠ 指 示
--	--	--

電源の入れかた

前面板を開けて、電源スイッチを兼ねている漏電遮断器のレバーを上にあげると電源が入ります。電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。夜間等に電源スイッチを切っておくと、防湿ヒーターが働かず原料が固まり出なくなることがあります。

より衛生的にご使用いただくために

工場出荷時にタンクや本体内の配管内部を洗浄していますが、より衛生的にご使用いただくために、『給水』➡『各飲料ボタンによる抽出』➡『排水』を2～3回繰り返し内部を洗浄してください。

お願い

長時間お使いにならないとき

2日以上ご使用にならなかったとき
雑菌が繁殖している恐れがあります。湯タンクの水を排水し、新しい水道水と入れ替えてください。電源スイッチを切り、カップステーションの後ろにある湯排水コックを「開」にして排水します。排水が終了したら湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れます。また、本体内の残水をすてるために、「おいしい水」の「COLD」ボタンを5～6回押します。

1週間以上ご使用にならないとき
原料容器の原料を全部取り出します。電源スイッチを切り、カップステーションの後ろにある湯排水コックを「開」にして排水します。止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜いてください。置台CT-33Lをご使用の場合は、水タンクと排水タンクの水も排水してください。

⚠ 注 意	置台の排水タンク（10L）をご使用の場合 排水タンクが空の状態 で本体の排水をする 排水タンクに残水がある状態で本体の排水（約6L）をすると溢れる場合があります。	⚠ 指 示
--	--	--

お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

原料の入れかた

1 原料容器と飲料ボタンを確認する
前面板の飲料ボタンと原料容器の関係をまちがえないように確認します。
とろみ剤は必ず原料容器2に入れてください。
2 原料容器に原料を入れる
原料容器の蓋を開き、上から原料を静かに入れます。原料容器の容量は約800mLです。原料容器をたたいたりして、原料を無理に詰め込まないでください。内部で固まり出なくなることがあります。

⚠ 警 告	指定の原料以外は使用しない 原料の種類によって粒度や吸湿性が異なると、正常な動作ができないことがあります。とろみ剤は適正な粘度のとろみがつかない場合やとろみ剤の溶け残り（ダマ）が残る場合があります。とろみを強くつけすぎたものや溶け残り（ダマ）を飲むと喉につまる恐れがあります。	⚠ 指 示
--	--	--

